

エアゾール缶の中身排出機構（残ガス排出機構）の活用を！

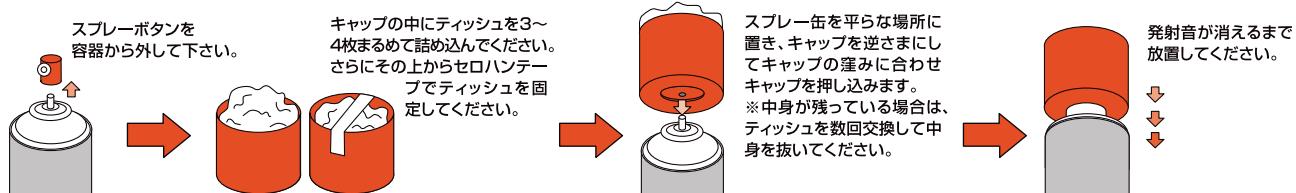
中身排出機構（残ガス排出機構）使用方法の代表例を示しました。下記以外にも商品の特質によりいろいろ工夫されております。エアゾール缶本体や添付の使用説明書に使用方法が記載されていますので、よくお読みになって使用ください。

●キャップの形状や特徴によって、排出方法が異なります。 ●必ず中身を使い切ってからガス抜きをしてください。

代表例その1



代表例その2



エアゾール缶の中身排出機構（残ガス排出機構）とは

エアゾール缶の中に残ったガスを確実、安全に抜くためのキャップなど中身排出機構（残ガス排出機構）をエアゾール缶に装着をはじめました。

（社）日本ガス石油機器工業会登録商品の
カセットこんろは2007年4月生産分より
※2.3kW (2,000kcal/h) 以上

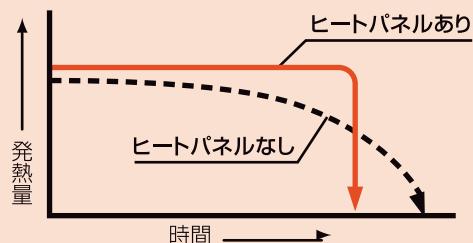
ヒートパネルを搭載することになりました。



ヒートパネルとは？
(容器加温装置)

カセットボンベは、使用中のガス気化に伴い、気化熱が奪われてガス圧と火力が落ちます。そのため、途中で火力が落ち、最後までカセットボンベ内のガスが使い切れない場合があります。そこで、必要となるのがヒートパネルです。使用中に、カセットボンベを適度に温めることで、ガス圧の低下を制御します。この働きにより、最後まで強い火力を維持し、カセットボンベ中のガスを最後まで消費することができます。

連続消費カロリー曲線



社団法人 日本ガス石油機器工業会 www.jgka.or.jp
〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-11 ガス石油機器会館 Tel:03-3252-6101(代)



財団法人 日本ガス機器検査協会 www.jia-page.or.jp
〒107-0052 東京都港区赤坂1-4-10 JIAビル Tel:03-5570-5981(代)

社団法人 日本エアゾール協会

エアゾール製品処理対策協議会

中央適正処理困難指定廃棄物対策協議会

